

# 河野大臣の中東外交

## ➤ 中東：河野外交6つの柱の1つ

- ①日米同盟の強化、②近隣諸国との関係強化、③経済外交の推進、④気候変動や軍縮・不拡散等の地球規模課題への対応、⑤中東の問題への関与、⑥「自由で開かれたインド太平洋戦略」の推進

「中東の平和と安定が、エネルギー供給を通じ、日本の経済・社会の安定に直結」

「日本がもっともつとこの中東問題にコミットしていく」（2017年8月、外務大臣就任記者会見より）

「対中東政策を抜本的に強化していく」（2018年1月、第196回国会における外務大臣の外交演説より）

⇒中東諸国との信頼関係や米国との同盟関係を生かし、中東地域の課題解決のための対話及び信頼醸成の促進に向けた、日本だからこそできる取組を推進。

## ➤ 2017年9月の就任以来、中東地域を既に5回訪問し、中東各国の政治指導者と個人的信頼関係を強化

(1)日本の外務大臣として、**バーレーン**を初訪問（2017年12月9日）、**オマーン**を27年ぶりに訪問（同月27日）。

(2)**日・アラブ政治対話**：アラブ諸国外相と地域の政治情勢について議論。

(3)**IISSマナーマ対話**：外務大臣として初出席し、政策スピーチを実施。

(4)**「自由で開かれたインド太平洋戦略」**：重要な位置を占める中東各国との協議呼びかけ。

(5)**「平和と繁栄の回廊構想」**に関する4者閣僚会合を主催（ヨルダン死海地域）。

## ➤ 対中東政策の基本姿勢として、「河野四箇条」を発表

- ①知的・人的貢献 ②「人」への投資 ③息の長い取組 ④政治的取組の強化